

第3回選考委員会（二次審査）について

第3回選考委員会では二次審査として一次審査通過者からのプレゼンテーション及びヒアリングを行います。その手順は以下のようになります。

1 実施方法

- (1) プレゼンテーション（以下「プレゼン」という。）及びヒアリングは、非公開で行います。
- (2) プレゼン及びヒアリングは、「A者」、「B者」等アルファベットを用い、事業者名を伏せて行います。
- (3) 参加事業者は、会場入室後5分間で準備を行います。
- (4) 参加事業者は、自己紹介を省略し、事務局からの合図とともにプレゼンを開始します。
- (5) 事務局が、プレゼンの残り時間5分でベルを1回、残り時間1分でベルを2回、終了時間でベルを3回鳴らすので、終了の合図後、参加事業者は直ちにプレゼンを終了します。
- (5) 新市立病院設計事業者選考委員会（以下「選考委員会」という。）は、プレゼン終了後、直ちにヒアリングを開始し、15分経過もしくは選考委員会の判断によりヒアリングを終了してください。また、終了の合図は、事務局が行います。
- (6) 参加事業者は、ヒアリング終了後5分間で片付けを行い、すみやかに退室します。

2 プレゼン及びヒアリングの流れ

以下の表に基づき、プレゼン及びヒアリングを行うこととします。選考委員の皆様には技術提案書+ヒアリング（二次）採点用紙を用いて審査していただくこととなりますが、価格点につきましては、事務局において事前に計算させていただきます。

タイムスケジュール表

発表者	入室及び準備 (5分間)	プレゼンテーション (15分間)	ヒアリング (15分間)	片付け (5分間)	採点 (5分間)
A者	16:05～	16:10～	16:25～	～16:45	～16:50
B者	16:50～	16:55～	17:10～	～17:30	～17:35
C者	17:35～	17:40～	17:55～	～18:15	～18:20
D者	18:20～	18:25～	18:40～	～19:00	～19:05
E者	19:05～	19:10～	19:25～	～19:45	～19:50

3 集計

全ての参加事業者からのプレゼン及びヒアリング終了後、事務局にて採点用紙を回収し、集計させていただき、最優秀者及び優秀者を特定します。

4 講評

最優秀者及び優秀者を特定された後、委員には二次審査の講評を行っていただきます。

技術提案書+ヒアリング（二次）採点用紙

選考委員名 _____

評価の着目点	評価事項	各委員の評価点					この欄に採点を御記入下さい				
		極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分	A	B	C	D	E
取組意欲	ヒアリングの実施により、管理技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力を評価する。	10	8	6	4	0					
	ヒアリングの実施により、意匠主任技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力を評価する。	20	15	10	5	0					
業務の理解度	業務内容、業務背景等の理解度、積極性を評価する。	5	4	3	2	0					
業務の実施方針及び計画の的確性、独創性、実現性	業務への取組体制、設計チームの特徴（協力体制・業務分担等）、特に重視する設計上の配慮事項等について、的確性、独創性、実現性等を総合評価する。	5	4	3	2	0					
評価テーマに対する技術提案の的確性、独創性、実現性	設定したテーマに対する技術提案について、的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的見地に基づく独創的な提案がされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮してテーマごとに総合的に評価する。	テーマ①	15	12	9	6	0				
		テーマ②	15	12	9	6	0				
		テーマ③	10	8	6	4	0				
		テーマ④	10	8	6	4	0				
価格点	価格点＝満点10点×{(上限価格－自社の提案価格)/(上限価格－提案価格のうち最低価格)}	事務局にて計算					—	—	—	—	—
合計点数		90点～0点									
順位		1位～5位									

採点いただいた順位を、再度、順位に応じた点数に置き換え、その合計点の最も高い者を最優秀者、次点を優秀者とします。
 （1位：100点、2位：90点、3位：80点、4位：70点、5位：60点）